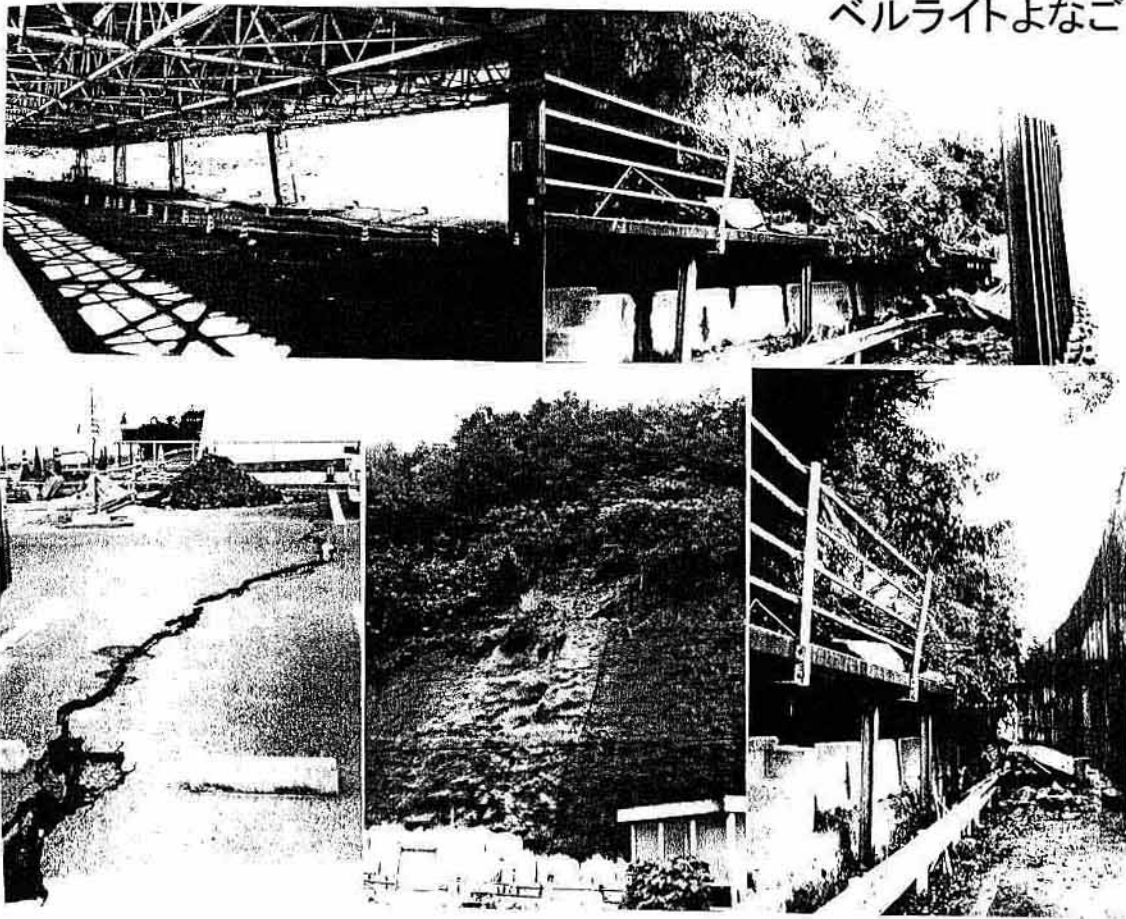


震災復旧工事労働災害防止・ 「ゼロ災55」推進大会

平成12年11月14日(火)

13:00～15:30

ベルライトよなご



米子労働基準監督署

鳥取県労働基準協会西部支部 米子地区建設業労働災害防止協議会

建設業労働災害防止協会鳥取県支部西部分会・日野分会

大会日程

1 あいさつ

米子労働基準監督署長
(社)鳥取県労働基準協会西部支部長

2 講演

「震災後における建設業の安全管理について」

兵庫労働局労災防止指導員

竹中工務店(株)神戸支店

安全環境課長 平井 司 氏

3 「ゼロ災55」無災害運動

震災復旧工事労働災害防止に係る留意事項 について

4 大会宣言

『震災後における建設業の安全管理について』

(株)竹中工務店 神戸支店
安全環境課長 平井 司

- | | |
|----------------|---|
| 1. はじめに | ①鳥取西部地震と阪神淡路大震災の比較 |
| 2. 阪神大震災の状況 | ①阪神・淡路地区の惨状
②建設工事の状況(T社の対応) |
| 3. どんな災害が多かったか | ①建設業の死亡災害が2.5倍に激増
②墜落災害・重機災害・崩壊倒壊災害・交通事故
③災害事例 |
| 4. 災害が増加した原因 | ①一斉に大量の工事の施工
②調査・計画・検討不足
③不慣れな作業員
※一番の問題は・・・ <ul style="list-style-type: none">・ ルールの無視・ 仕事(工期)優先・ 管理の不足 |
| 5. 建災防の活動 | ①建災防安全衛生支援センターの設置(拠点づくり)
②安全パトロール・安全教育・安全用具の支給・貸与 |
| 6. 各社の安全活動 | ①各店社の安全管理活動
②具体的活動事例 <ul style="list-style-type: none">a)神戸国際会館新築工事の安全活動b)神戸関電ビルの安全活動 |
| 7. 終わりに | ①震災で失ったもの
②震災で得たもの |

以 上

震災復旧工事労働災害防止・「ゼロ災55」-推進大会資料

米子労働基準監督署

1 労働災害発生状況

12年10月末現在の休業4日以上の労働災害発生状況

(資料 NO. 1)

2 「ゼロ災55」無災害運動

(資料 パンフレット)

3 基本的労働災害防止対策

(1) 安全管理体制の確立と安全管理活動の活性化

①安全管理体制の確立

②計画的、継続的な安全活動の実施

労働安全衛生マネジメントシステム（PDCAサイクル）の確立

(2) 計画、設計段階での安全性の確保

①工場の新設等を行うに当たってのセーフティ・アセスメント

②建設工事の施工に当たってのセーフティ・アセスメント

イ 基礎資料の収集

ロ 基本的事項の安全対策の検討

ハ 特有災害の危険度のランク付け

ニ 特有災害の危険度に見合った安全対策の検討

(3) 適正な作業方法の確立

①安全作業マニュアル 作成→決定→遵守→見直し

(4) 安全教育の充実

(5) 機械設備の安全化

①設備自体の安全化

④作業方法の適性確保

②設置段階での安全

⑤作業者の知識・技能の確保

③設備の性能の維持

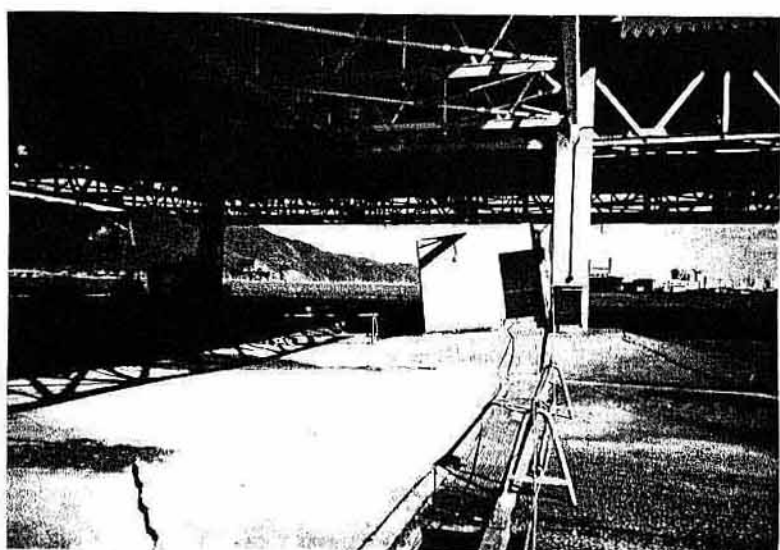
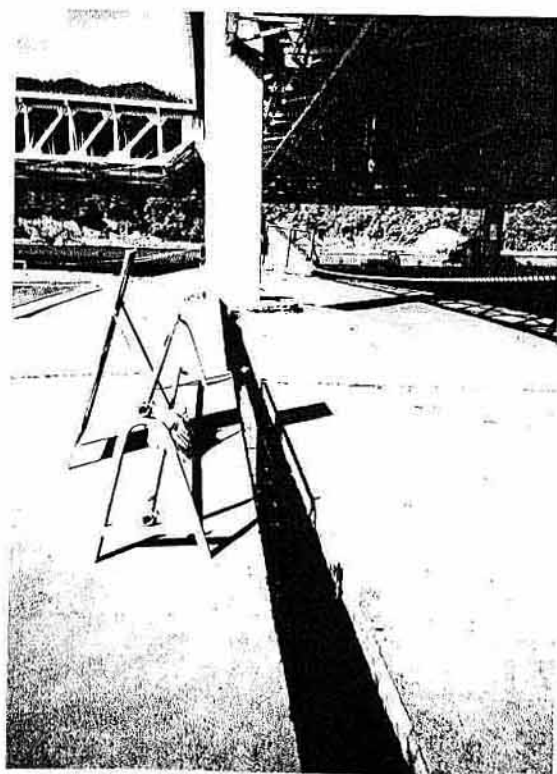
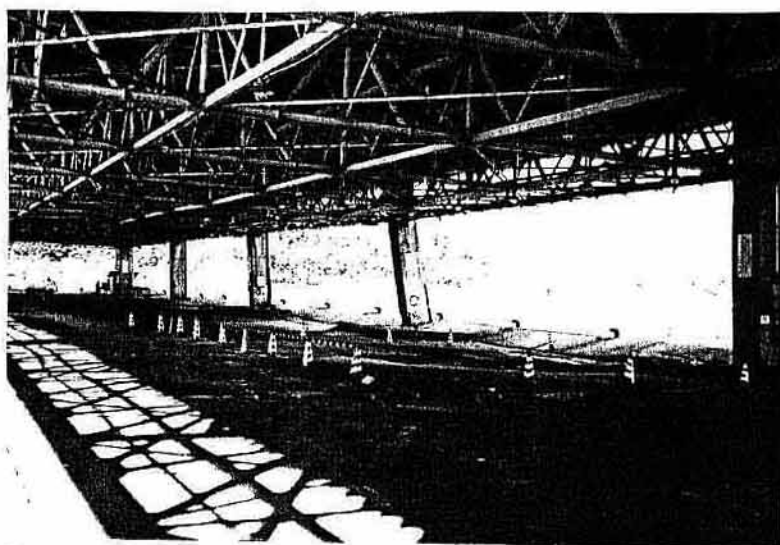
(6) 高年齢労働者の安全対策

(7) 交通労働災害の防止対策

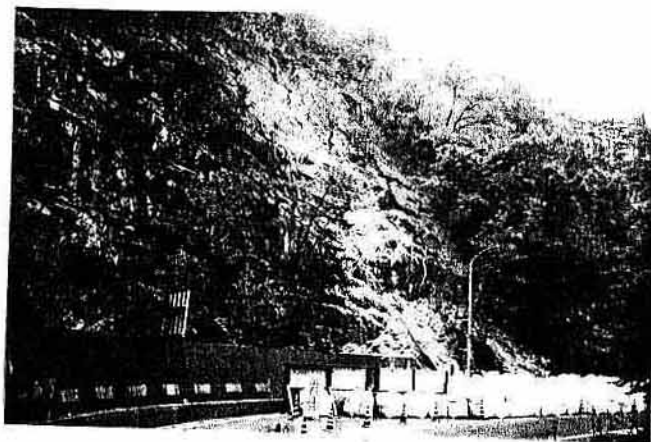
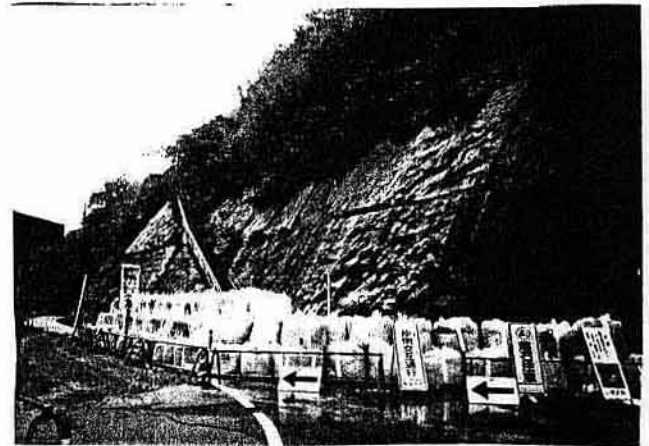
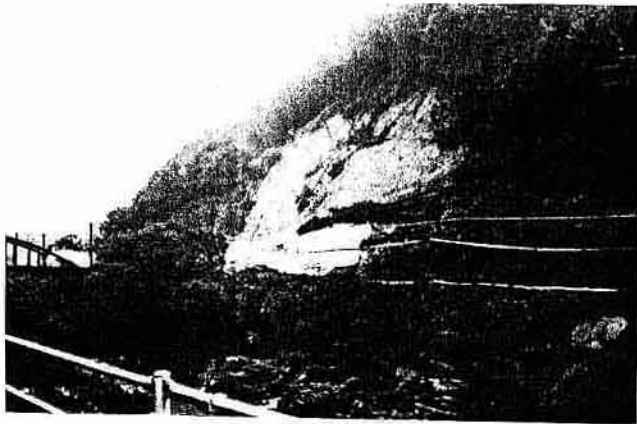
①交通労働災害防止のためのガイドライン

4 地震に関わる労働災害防止に係る留意事項

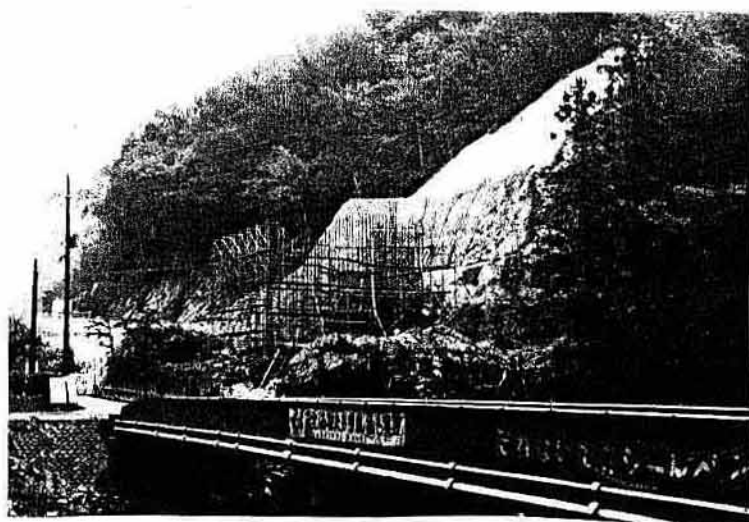
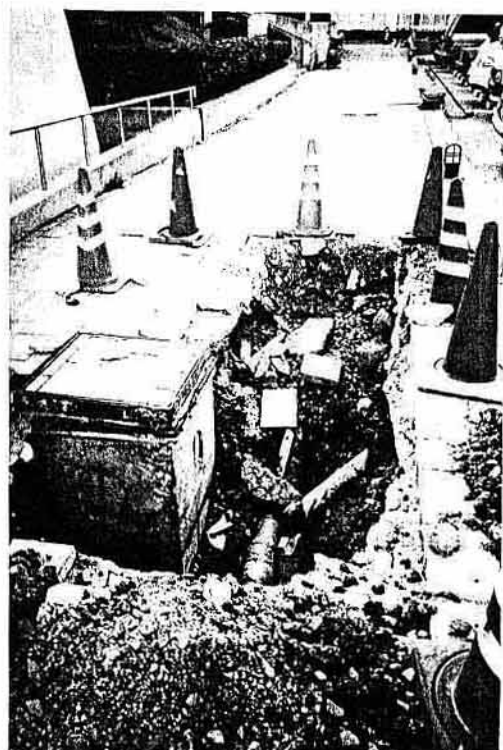
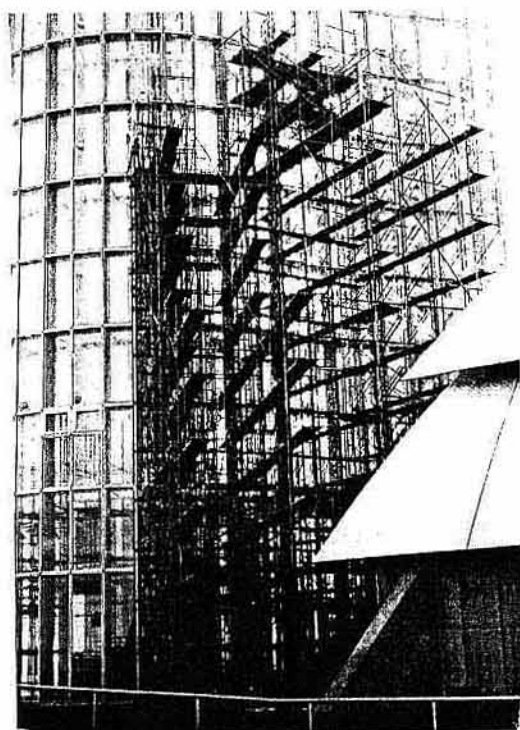
- ① 家屋、施設等の解体補修工事等においては、建築物等の破損状況等を十分点検し作業間の調整を行った後作業を開始すること。



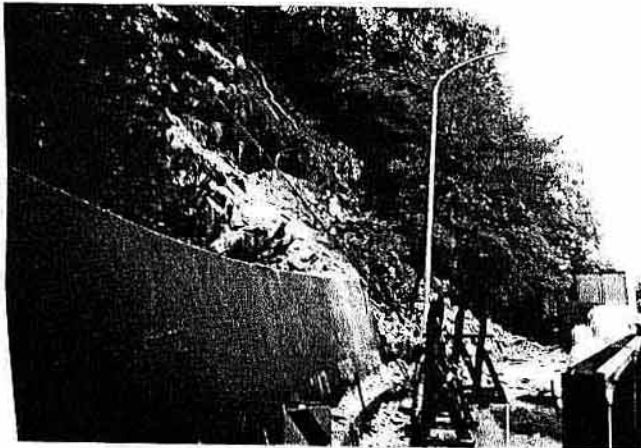
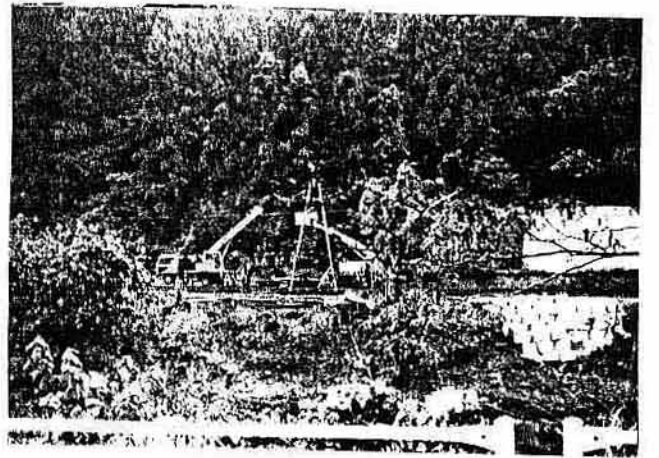
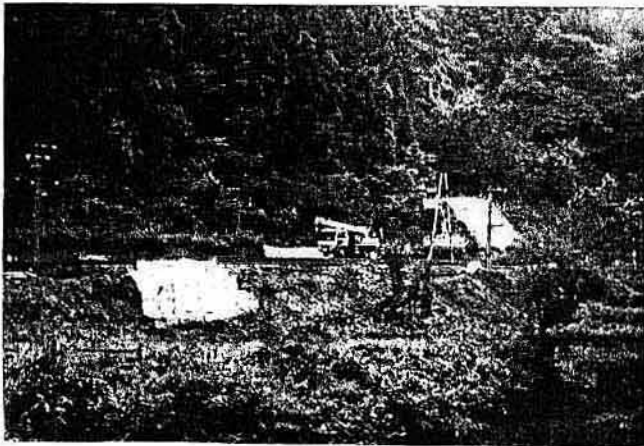
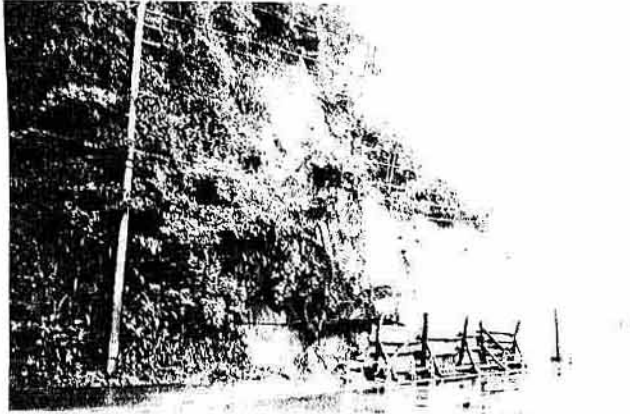
- ② 地山の崩壊又は土石の落下等により労働者に危険を及ぼすおそれのある箇所において作業を行うときは、作業箇所及びその周辺の地山について、その日の作業を開始する前、地質及び地層の状態、浮石及び亀裂の有無並びに含水及び湧水、可燃性ガスの有無等を点検するとともに、必要に応じ監視人を配置し、作業中監視させること。



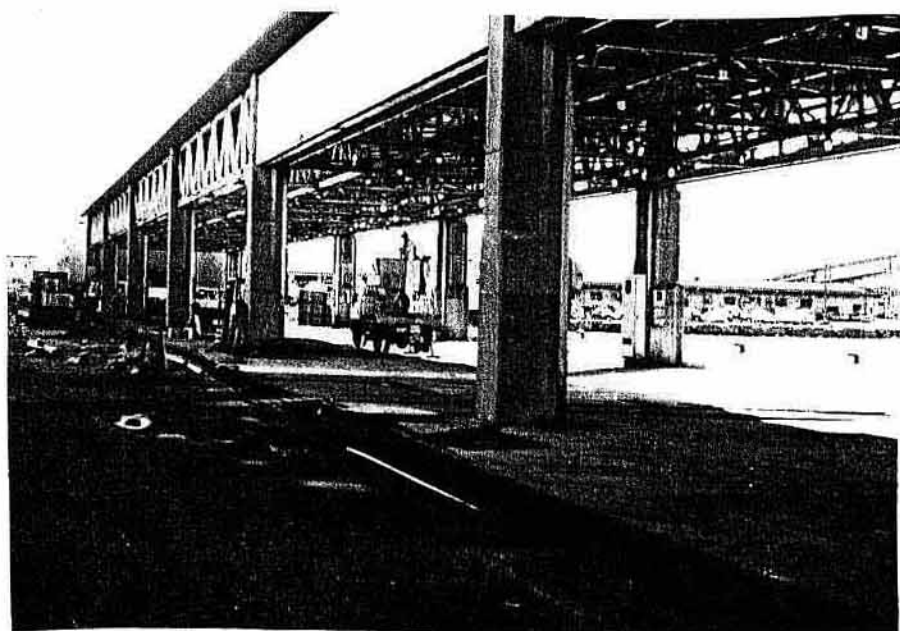
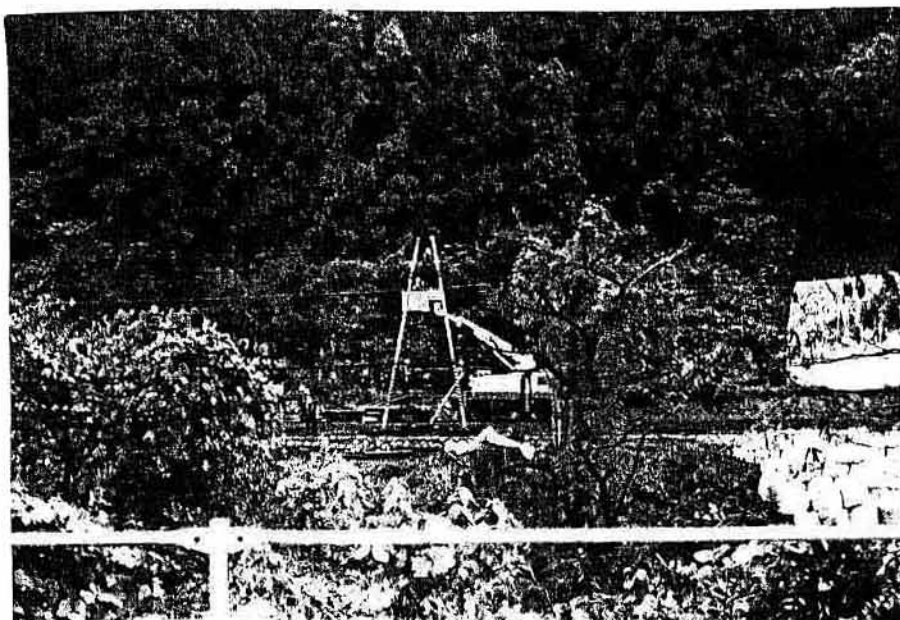
- ③ 足場、土止め支保工等の仮設物等については、部材の損傷、変形、脱落等の有無及び状態について点検し、異常を認めるときは、直ちに補強、補修等の措置を講じること。



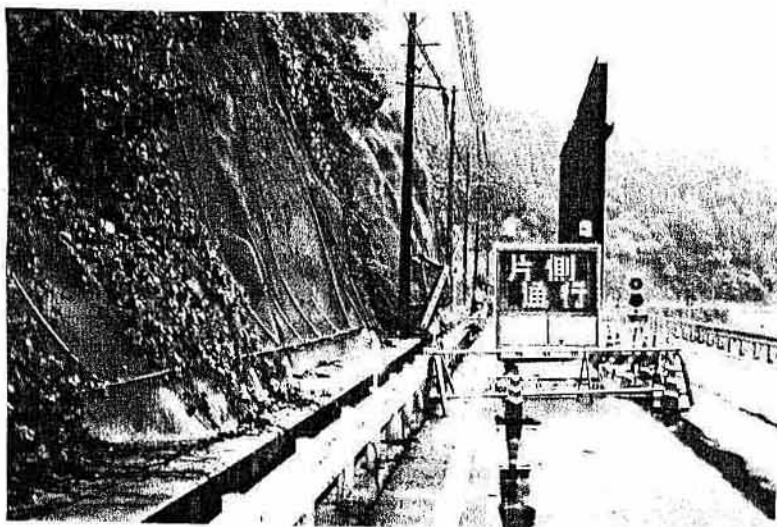
- ④ 車両系建設機械等を用いて作業を行うときは、転倒、転落による労働者の危険を防止するため、路肩の崩壊の防止等必要な措置を講じること。



- ⑤ 高所での作業を行う場合において、墜落により労働者に危険を及ぼすおそれのある箇所においては、作業床の設置、安全帯等の使用を徹底すること。



- ⑥ 未熟練労働者、経験の少ない労働者の就労が増加することが考えられることから、作業開始前の安全教育の実施、及び各種作業主任者や車両系建設機械等に係る有資格者の適正な配置を徹底すること。
- ⑦ 作業に従事する労働者には保護帽を着用させること。



復旧工事の 労災防止を

米子で14日安全大会

地震災害の復旧工事での
労災防止を図るため、
米子労働基準監督署(川下
和宏署長)は十四日、米子
市西福原七丁目の「ペルラ
イトよなご」で建設会社な
どの関係者を集めた安全大
会を開く。
一九九五年の阪神大震災
の復旧工事で、工事現場で
の墜落事故など死亡事故が
多数起きたことから、兵庫
労働局労災防止指導員で竹
中工務店神戸支店安全環境

課長の平井司氏が、具体的
な事例を挙げながら災害防
止対策について話す。さら
に、参加者全員で安全宣言
をする。

同監督署によると、今回
の地震の発生当日は、米子
市内や日野町など計八カ所
の工事現場や工場などで、
落石に巻き込まれたり、土
砂に埋まったりして計十二
人がけがをしたという。
同監督署の久保田剛・第
二課長は「地震では幸い
にも死者が出なかった。
復旧工事でも死亡労災事
故などが起きないように
徹底したい」と話してい
る。

地震事
西部地
部復
災害

労災防止を推進

米子で大会 建設業者ら誓う

鳥取県西部地震の災害
復旧工事による労働災害
防止の徹底などを図る推
進大会が十四日、米子市
西福原七丁目のペルライ
トよなごで開かれた。県

開を誓った。

米子労働基準監督署の
川下和宏署長が「鳥取県
西部地震の復旧工事が本
格化する。災害復旧工事
で多くの人が亡くなった
阪神・淡路大震災の轍
(てづ)を踏まないよう
新世紀を迎えたい」とあ
いさつ。兵庫労働局労災
防止指導員などを務める
竹中工務店神戸支店安全
環境課長の平井司氏が購
演した。
平井氏は、阪神・淡路
大震災の復旧工事が増加
する中で建設業の死亡事
故が増した現状を紹介。
事故の形態は墜落や
重機によるものなど従来
型の災害が多く、増加の
原因として▽大量工事の
一斉施工▽調査・計画・
検討の不足▽作業員が不
慣れたこと―の三点
を挙げ、「一番の問題は
基本ルールの無視。安全
より工期や仕事を優先し
てしまった」と教訓を暗
示した。

大会では災害復旧工事
の無災害をはじめ、県内
で七日から始まった年末
五十五日間無災害運動
(ゼロ災害運動)の促進
を誓う大会宣言を採択し
た。

鳥取県西部地震にかかる労働災害発生状況

1. 10月 6日 発生分

- | (1) | 所在地 | 現場名・所在地 | | |
|--|-------|-----------------------------------|----------------------|------------------|
| A建設 | 日野町 | 大町川荒廃砂防工事
日野町 | | |
| 被災状況 | | | | |
| 負傷1名(左足下腿骨骨折) 足場上で型枠作業中地山崩壊し下半身が土砂に埋まつたもの。 | | | | |
| (2) | B建設 | 赤碕町 | 大山(一ノ沢)山腹工事
大山町大山 | |
| 被災状況 | | | | |
| 負傷2名(打撲・骨折)
(休業見込み1ヵ月) | | | | 落石に巻き込まれ負傷したもの。 |
| (3) | Cビル管理 | 米子市 | 米子市 | |
| 被災状況 | | | | |
| 負傷1名(両足踵骨骨折) | | | | 足場から飛び降りて負傷したもの。 |
| (4) | D建設 | 米子市 | ホテル新築工事 | |
| 被災状況 | | | | |
| 下請事業主負傷1名 | | 避難中機械が落下し接触したもの。(右肘骨折) | | |
| 下請作業員不休3名 | | 避難中転倒し負傷、作業中脚立が倒れてきて負傷
(擦り傷程度) | | |
| (5) | E工場 | 米子市 | | |
| 被災状況 | | | | |
| 不休1名 | | 避難中天井から合板が落下し接触し軽い打撲を負った。 | | |
| (6) | F工場 | 岸本町 | | |
| 被災状況 | | | | |
| 負傷1名(手骨折) | | 崩れた棚の修理中余震で棚の間に手を挟まれ負傷した。 | | |

- | | 所在地 | 現場名・所在地 |
|------|-------------|--|
| (7) | G社 | 西伯町 |
| | 被災状況 | |
| | 負傷1名(足骨折) | 床と豚の分娩舎の仕切りが崩れ、足を挟まれ負傷した。 |
| (8) | H水産 | 境港市 |
| | 被災状況 | |
| | 負傷1名(足骨折) | プラットホームから避難のため飛び降り、負傷した。 |
| (9) | I食品 | 境港市 |
| | 被災状況 | |
| | 負傷1名(火傷・骨折) | 地震で油が鍋からあふれてかかった。倒れた人を助けようとして、釜にあたり骨折した。 |
| (10) | J社 | 米子市 |
| | 被災状況 | |
| | 負傷1名(骨折) | 商品整理中に地震発生し、避難しようとして階段から転落した。 |
| (11) | K社 | 米子市 |
| | 被災状況 | |
| | 負傷1名(骨折) | 2階屋根より飛び降りた。 |
| (12) | L社 | 米子市 |
| | 被災状況 | |
| | 負傷1名(骨折) | 避難しようとした時に転倒した。 |

2. 10月7日(余震)発生分

- | | | |
|--|----------|--------------------------------------|
| | M建設 | 日野町 |
| | 被災状況 | |
| | 負傷1名(骨折) | 2トンダンプあおりをはずそうとしていた時に余震発生し、左足の上に落ちた。 |

※ 労働者死傷病報告の提出と労働者災害補償保険の給付請求があったものをまとめたもの。